

# 弘前大学学報



弘前大学 クリスマスツリー

第 81 号  
平成22年12月号

**学内ニュース**

|                         |       |   |
|-------------------------|-------|---|
| ○平成22年 年末仕事納めの挨拶        | ----- | 1 |
| ○白神自然環境研究所教育研究棟竣工記念式典式辞 | ----- | 3 |
| ○平成22年度弘前大学「公開授業」を開催    | ----- | 5 |
| ○平成22年度弘前大学FDワークショップを開催 | ----- | 6 |
| ○平成22年度弘前大学FDシンポジウムを開催  | ----- | 7 |

|              |       |   |
|--------------|-------|---|
| <b>諸 会 議</b> | ----- | 8 |
|--------------|-------|---|

**人 事**

|          |       |    |
|----------|-------|----|
| ○新任役員等紹介 | ----- | 11 |
| ○新任教授紹介  | ----- | 11 |
| ○人事異動    | ----- | 11 |

|             |       |    |
|-------------|-------|----|
| <b>主要日誌</b> | ----- | 13 |
|-------------|-------|----|

|                  |       |    |
|------------------|-------|----|
| <b>学内規則等の制定等</b> | ----- | 14 |
|------------------|-------|----|

|            |       |    |
|------------|-------|----|
| <b>訃 報</b> | ----- | 17 |
|------------|-------|----|

---

## 平成22年 年末仕事納めの挨拶



平成22年年末仕事納めに当たり、ご挨拶を申し上げます。

皆さん、今年一年誠に御苦労様でした。学長として、厚く御礼を申し上げます。種々厳しい1年であったと思います。ここで、この1年を反省を込めて、振り返ってみたいと思います。

第1に、評価全国最下位の問題です。本年4月は、国立大学法人第2期中期目標期間が開始されるので、昨年第2期中期目標を文部科学省へ提出し、第2期中期目標期間開始に向けて、満を持していたところでありました。

ところが、3月25日、第1期中期目標期間の終了前評価に基づく、運営費交付金への反映分について、本来は相対的評価ではないので、ランキングすべきものではなかったのですが、これがランク付けされ全国最下位として新聞報道されました。本学教職員学生はもとより、弘前大学を支えている方々の驚き・衝撃は大変なものでした。

学長としては、文部科学省及び国立大学法人評価委員会に対して、評価方法の問題点、評価に及ばず大学間格差・地域間格差等について、強く抗議を行うと共に、関係方面にも理解を求めたところがあります。

これ対し、文部科学省永山賀久法人支援課長が「現在の評価のあり方として弘前大学は最下位であったが、弘前大学がすばらしい大学改革を進めておられることは、本省の誰もが認めていることです。」と2度に渡って直接電話をくださいました。また、坂田東一文部科学事務次官も来学し、同様の話をされて行かれました。その後、文部科学省及び国立大学協会関係者の話から、弘前大学の第1期中期目標期間中の基盤整備が、非常に高く評価されているということが知られました。

しかし、この第1期中期目標期間の評価については、評価のあり方や大学間格差ばかりではなく、本学の教育、研究、そして教員評価等において、実質的な遅れのあるという事実を認めざるを得ませんでした。そこで、本学の様々な業務に関して、見直しを行うことにしました。第3次臨時入試改善委員会及び緊急研究推進会議を発足させ検討を行い、一定の方策が決まりました。また、教員評価の見直しを進め、更に臨時教育推進会議も発足させたところでもあります。

こうした経緯の中で、教育、研究等に関わる各大学との比較や、大学ランキング上の本学の位置等も公表し、本学の現況が、本学の規模や設立の歴史等から見て、あまりにも低いという危機感を共有しようと思いました。しかし、科学研究費の申請状況等からみれば、本学の構成員が、等しくこの危機感を共有しているとは言い難いことがわかり、残念に思いました。これからは、教育研究の推進に向けて、相当の努力が必要と思います。

---

第2にお話ししたいことは、本学の運営費交付金を中心とした財政・施設整備の問題であります。第1期中期目標期間中、本学は運営費交付金、特別教育研究経費、補正予算等において右肩上がで、実質的には国立大学法人化以前を上まわる状況でした。

そして、本年は、財務及び施設の事務方の多大の努力によって、教育学部校舎の大規模改修工事の継続、高度救命救急センターの開設、世界自然遺産白神山地近くに白神自然環境研究所の教育研究棟の竣工等がありました。

しかし、6月閣議決定により平成23年度の国全体の緊縮予算が伝えられ、新しい予算案策定のため、皆さんからパブリックコメント提出の御協力を、得たところであります。

この年末になってようやく平成23年度の予算が内示されました。23年度の予算については、他大学に比較してもかなり手厚い予算配分の内示を得ました。このことについては、本学の全体的評価と、財務部及び施設環境部職員の並々ならぬ努力の結果であり、関係者に厚く御礼を申し上げます。しかし、このことに満足せず、来年教職員は、科学研究費を始めとして外部資金の獲得に一層の努力が必要であります。

第3に、教育・研究の基盤整備ですが、本年10月1日、北日本新エネルギー研究所、白神自然環境研究所、そして被ばく医療総合研究所と、3施設がそれぞれ研究所に昇格しました。エネルギーと環境問題は、国の平成23年度の「元気な日本」政策の根幹の一つであり、また本学の被ばく医療は、これからの我国の原子力政策から見て、被ばく医療の重要な拠点の一つとして期待されているところであります。

この3研究所を含めると、本学は5学部 大学院7研究科 3附置研究所という教育研究組織となり、大きく発展したこととなりました。

こうしてみますと、文部科学省も指摘している通り、本学の基盤整備は確固たるものとして進んできたことになり、このことが平成23年度の本学の予算内示に表れていることは確かで、この推進に当たられた教職員に心からのお礼を申し上げます。

その他のことについて振り返ってみます。この1年以内に不祥事も幾つかありました。問題解決に越年するものもありますが、教職員がその問題の解決に大変な努力を払っておられることを、目の当たりにしておりますので、そのことに心から感謝いたしております。

1年を通してみて、GPとして被ばく医療人材育成及び男女共同参画推進が採択され、また国際会議等も本年本学で3度開催されました。学内には農学生命科学部藤崎農場に、りんご「ふじ」の誕生地の記念碑と記念広場が設置され、文京キャンパスの附属図書館前に漫画家・手塚治虫らを育てた加藤謙一さんの記念碑の建立もありました。出版会の出版も順調に出版を続けており、全国から、出版会のモデルとして注目されております。

今年は、総合文化祭創立10周年になりました。他大学に例の少ない多くの市民が参加され、すばらしい総合文化祭となりました。しかし、残念なことに、就職支援センターを中心とした教職員の努力にも関わらず、年末を控え、学生の就職の件は、不十分なまま越年することになりました。

しかし全体として、本学は第1期中期目標期間中に教育研究の基盤整備がかなり進んだことになりました。これからの第2期中期目標期間においては、本学の教育・研究の質の向上に一層の力を入れ、評価を高める努力が必要であります。来年は特にこの点に力を入れて、皆さんと共に努力したいと思います。

評価に明け暮れたこの1年、皆さんのご努力に心から敬意を表し、厚く御礼を申し上げます。皆さんが御多幸の新年を迎えられますよう祈念して、仕事納めの挨拶と致します。

平成22年12月28日

弘前大学長 遠藤正彦

## 白神自然環境研究所教育研究棟竣工記念式典 式 辞



本日の、弘前大学白神自然環境研究所の教育研究棟竣工記念式典に当たり、西目屋村村長 関和典様、この白神自然環境研究所附属白神自然観察園の敷地を御貸与くださいました齋藤行正様始め多数の方々に、この冬季に入りまして大変寒い時期、この白神においでくださいまして誠にありがとうございました。まわりの木々がすっかり落葉し、もう度々降雪があり、一息の呼吸が胸の中まで冷気を呼び込むほどのこの寒さが、正に白神であります。

昨年・平成21年11月11日本学は、この地に我国最大規模の植物園である白神自然観察園を設置しました。この設置におきましては、この土地の所有者の齋藤行正様、西目屋村村長 関和典様、青森県、国土交通省東北地方整備局津軽ダム工事事務所、環境省東北地方環境事務所西目屋自然保護官事務所、林野庁津軽森林管理署、東北電力株式会社青森支店各位の御支援をいただきました。

その後、この自然観察園の整備を進めると共に、本年10月1日、この施設は研究所に昇格し、弘前大学白神自然環境研究所及び同附属白神自然観察園となり、本学農学生命科学部 佐々木長市教授が研究所長を併任し、学外から動物、植物を専門とする教員を招いて、研究所の内容は充実してきたところであります。

白神自然環境研究所 佐々木長市研究所長以下は、白神山地の自然保護、地球温暖化等のこれからの地球規模の環境問題の教育・研究を展開するため、世界自然遺産白神山地の核心地に迫る最前線基地として、かねてよりこの地に教育研究棟の建設を進めており、本日竣工式となったところであります。この教育研究棟の建設にあたりましては、この白神自然観察園設置に関わった方々として先に御紹介いたしましたすべての方から、再び御協力・御支援をいただき、本日の竣工式と相成ったわけがあります。心から厚く御礼を申し上げます。

白神自然環境研究所は、世界自然遺産白神山地周辺の、環境、気象、野生動植物、森林浴等を対象とした研究を行うための研究機器を備え、これらの研究を中心に行うとともに、白神山地で活動する他の研究者のサポートや調査協力なども行います。

昨年・本年と、この附属白神自然観察園では、本学農学生命科学部学生の実習、県内の小学・中学の児童・生徒の見学、また国内の国立大学からの見学と、多くの来訪者を迎えました。本学の学生にとりまして、今までにない新しい白神という教育・研究のフィールドができました。関東地方の中学校から既に来年の見学の予約申し込みがきており、この附属白神自然観察園は新しい展開を見せております。

---

更に、中国国家級自然保護区長白山に研究フィールドを持つ本学の姉妹校である中国延辺大学と、本学農学生命科学部及び白神自然環境研究所との研究交流が、昨年が続いて今年も行われ、更に来年度の研究交流も予定されております。そして、来年度、白神の自然環境に関する国際シンポジウムが、中国延辺大学と連携して開催される計画が進んでおります。

こうした教育研究活動は、この度竣工しました教育研究棟の活用によって一層活発化されると期待されています。更に教育・研究の多くの成果をあげると共に、一般市民にも開放されることにより、生涯教育の場として活用され、また、小中高生の理科離れ対策の一助ともなることが期待されております。

この研究棟は、間もなく厳冬期を迎え雪に閉ざされますが、研究は続けられます。皆様には来年の早春雪融けと同時に、この附属白神自然観察園にお出かけくださいますよう御案内申し上げます。そこにはきっと白神の早春を告げる福寿草が皆様をお待ちしていると思います。

本日竣工式を迎え、この教育研究棟の建設にお力添えくださいました関係各位に、重ねて厚く御礼申し上げます、式辞といたします。

平成22年12月2日

弘前大学長 遠藤正彦

## 平成22年度弘前大学「公開授業」を開催

本学では、11月8日（月）から11月22日（月）まで「弘前大学教育・学生委員会」と組織的なFD活動を推進するために編成された「弘前大学FDネットワーク」が共催し、「公開授業」を実施しました。

これは、授業改善のための教員による相互研鑽のための取組であり、授業設計者である教員が自らの授業を振り返り、授業方法の改善・充実に繋げるのみならず、授業参観者が良い点を見出し、自らの授業方法の改善・充実に活用することを目的としています。

また、今年度より公開する授業を12科目から38科目に増やし、その他にも高大連携の充実に資するため、試行的な取組として高等学校教員へも授業を公開したところ、本学教員約100名及び高等学校教員4名が各々の授業を参観しました。

なお、本学では、別事業の弘前大学ドリーム講座（出張・出前講義）として出向いた高等学校で、本学教員が高校生に授業を行う前に、高等学校教員の授業を参観し、本学教員と高等学校教員との間で相互授業参観が実施されました。

参観者からのアンケートでは、「授業公開者がノートを見ずに、自らの言葉で講義していた点が素晴らしい」や、「教科書に掲載されていない例をいくつも示し、頻繁に学生に質問しながら話し続けて行う授業方法を、自身の授業方法に是非取り入れてみたい」などの感想が寄せられました。



公開授業の様子

## 平成22年度弘前大学FDワークショップを開催

本学では、12月4日（土）から5日（日）の1泊2日で、教育・学生委員会主催による第10回FDワークショップを合宿形式で開催しました。

今年度2回目のFDワークショップは、平成22年度特別経費「ティーチング・ポートフォリオを活用したFD活動」の展開として、参加者自らが授業実践を省察して弘前大学版ティーチング・ポートフォリオと位置付けている「教育者総覧」の作成及び見直しをするという内容でした。各学部から推薦された2名の教員と他大学からの希望者に加え、カナダのダルハウジー大学でティーチング・ポートフォリオワークショップの認定書が授与された教員や、昨年度のFDワークショップで受講者として参加した教員が協力者として参加しました。

はじめに、神田教育・学生担当理事より「教育改革の現状と課題」と題して講演があり、その後、教育者総覧や今後のFD活動に関してグループ討議を数回行い、各グループの代表者が本ワークショップで作成した教育者総覧を発表して意見交換を行いました。

また、本学教員より教育者総覧導入の経緯や記事事例に関する講演後、他大学のポートフォリオ活用事例や、ICED国際コンソーシアム、POD年次大会に出席した教員から、現在作成しているティーチング・ポートフォリオについての進捗状況が報告されました。参加者からは、「本ワークショップでの意見交換を活かし、教育者総覧の充実を図るべきだ」といった意見が出されたほか、アンケートでは、「今回のワークショップのように1日目に教育者総覧の書き方指導で始まり、2日目に一般的なティーチング・ポートフォリオで締めくくるやり方が良いと思う」などといった声もありました。



講演する神田教育・学生担当理事



グループ討議の様子



## 平成22年度弘前大学FDシンポジウムを開催

本学では、弘前大学創立50周年記念会館「みちのくホール」において、12月10日（金）に、弘前大学FDシンポジウムを開催しました。

遠藤学長からの開会挨拶の後、皆本佐賀大学准教授より「佐賀大学におけるポートフォリオ活用の試み～教育改善のためのティーチング・ポートフォリオ導入とその展開～」、鈴木岐阜大学教授より「岐阜大学医学部におけるポートフォリオ活用の試み～1年次地域体験実習と5年次医療面接実習における振り返りの促進と教員からのフィードバック～」と題した講演がありました。

その後、各部局におけるこの3年間のFDの取組とその成果の報告に加えて、ICED国際コンソーシアム、POD年次大会、SEDA年次大会に派遣された本学教員から諸外国のFD/ED活動状況の報告があり、弘前大学におけるティーチング・ポートフォリオを活用したFD活動をより一層推進し、積極的な教育改善を図っていくための貴重な情報が得られました。

質疑応答では、参加者から「ティーチング・ポートフォリオを書くことが教員にとってプラスになることを、どう周知徹底しているのか」また「岐阜大学医学部では、学生が自らの学習実践記録を目に見える形で残しているが、どのように学生をFDに取り込んでいけばよいか」などの質問が出されるなど、報告者の応答にも熱がこもりました。



講演する皆本佐賀大学准教授



講演する鈴木岐阜大学教授

---

## ■ 諸 会 議

### ▼役員会

1 2月6日（月）

#### 審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学長の行う承認又は命令権等の委任に関する規程の一部改正について
- 2 弘前大学全学教員養成担当実施委員会要項について
- 3 医学研究科における寄附講座の設置について

#### 報告事項

- 1 平成22年度補正予算について
- 2 評価会議における評価結果について
- 3 平成22年度弘前大学研究成果公開シンポジウムの開催について

1 2月13日（月）

#### 審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学職員就業規則等の一部改正について
- 2 国立大学法人弘前大学旅費規程の一部改正について
- 3 弘前大学全学教員養成担当実施委員会要項について

#### 報告事項

- 1 社団法人国立大学協会臨時学長等懇談会について
- 2 要望事項等調査票の振り分けについて
- 3 平成22事業年度中間決算について
- 4 平成21年度決算検査報告説明会について
- 5 学園町団地仮設駐車場で発生した車両破損事故について
- 6 各国立大学法人（北海道・東北地区）の科学研究費補助金の採択状況について
- 7 第4回北東北国立3大学連携推進研究プロジェクト成果報告会の開催について
- 8 平成23年度弘前大学内地研究員派遣候補者の推薦について
- 9 青い森セントラルパーク低炭素型モデルタウン構想について

1 2月20日（月）

#### 審議事項

- 1 調査委員会の設置について
- 2 学内諸規則等の一部改正について
  - (1) 国立大学法人弘前大学職員就業規則等の一部改正について
  - (2) 国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について
  - (3) 国立大学法人弘前大学職員就業規則等の一部改正について
- 3 平成22年度予算実施計画の変更について
- 4 弘前大学全学教員養成担当実施委員会要項について
- 5 医学研究科における寄附講座の設置について
- 6 弘前大学新エネルギー関連大学院博士課程設置検討委員会の設置について

#### 報告事項

- 1 平成23年度推薦入試の実施について

---

12月27日（月）

審議事項

- 1 学内諸規則等の一部改正等について
  - (1) 副病院長、附属図書館長等に関する諸規則等の一部改正について
  - (2) 弘前大学附属図書館長選考規程の廃止について
  - (3) 事務局長に関する諸規程等の一部改正について
  - (4) 国立大学法人弘前大学職員就業規則等の一部改正等について
- 2 弘前大学医学部附属病院放射線障害予防規程の一部改正について
- 3 平成22年度予算実施計画の変更について
- 4 弘前大学入学試験運営細則の一部改正について

報告事項

- 1 教育研究評価に関する評価報告書（案）について
- 2 平成22年度内部監査の結果について
- 3 平成23年度予算内示について

▼教育研究評議会

12月14日（火）

審議事項

- 1 学内諸規則等一部改正について
  - (1) 副病院長、附属図書館長等に関する諸規則等の一部改正
  - (2) 弘前大学附属図書館長選考規程の廃止
  - (3) 事務局長に関する諸規程等の一部改正について
  - (4) 弘前大学職員就業規則等の一部改正について
- 2 弘前大学全学教員養成担当実施委員会要項について
- 3 21世紀教育スポーツ・体育実技科目について
- 4 医学研究科における寄附講座の設置について

報告事項

- 1 教員の人事について
    - (1) 教員の採用・昇任
  - 2 社団法人国立大学協会臨時学長等懇談会について
  - 3 平成23年度大学入試センター試験志願者の本学への割当数について
  - 4 出張講義・ドリーム講座の一本化について
  - 5 就職内定状況について
  - 6 平成23年度科学研究費補助金申請状況について
  - 7 研究戦略企画会議の設置について
  - 8 平成22年度 弘前大学研究成果公開シンポジウムの開催について
  - 9 平成23年度弘前大学内地研究員派遣候補者の推薦について
  - 10 利益相反セミナーの開催について
  - 11 第4回北東北国立3大学連携推進研究プロジェクト成果報告会の開催について
  - 12 委員会報告
    - (1) 緊急教育推進会議報告
    - (2) 21世紀教育センター運営委員会
    - (3) 教育・学生委員会
    - (4) 第3次臨時入学試験改善委員会
    - (5) 研究・産学連携委員会
-

---

▼教育・学生委員会

12月24日（金）

審議事項

- 1 平成23年度総合文化祭の日程について
- 2 入学式及び学位記授与式の日程に関する申合せについて
- 3 教育研究活動等の状況についての情報の公表について
- 4 男女共同参画推進室フォーラム共催について
- 5 懲戒処分規程における「試験等」の範囲について
- 6 学生表彰実施要項における「準ずる成績」の範囲について
- 7 平成22年度年度計画の検討について

報告事項

- 1 平成22年度FD活動について
- 2 学生等の薬物乱用防止のための教職員研修会参加について

▼研究・産学連携委員会

12月16日（木）

審議事項

- 1 平成23年度弘前大学特別研究員の審査について

報告事項

- 1 弘前大学研究戦略企画会議の設置について
- 2 平成22年度弘前大学研究成果公開シンポジウムの開催について
- 3 第4回北東北国立3大学連携推進研究プロジェクト成果報告会の開催について
- 4 医学研究科における寄附講座の設置について
- 5 各国立大学法人（北海道・東北地区）の科学研究費補助金の採択状況について
- 6 利益相反セミナーの開催について
- 7 地域共同研究センター運営委員会の報告について

## 新任役員等紹介



学長特別補佐  
エラ シゲル  
江羅 茂

江羅総務部長が、平成22年12月1日付けで、  
本学学長特別補佐に発令されました。

## 新任教授紹介



医学研究科  
クロセ アキラ  
黒瀬 顕

黒瀬岩手医科大学嘱託准教授  
が、平成22年12月1日付けで本  
学医学研究科教授に発令されま  
した。



保健学研究科  
ナカガワ コウイチ  
中川 公一

中川福島県立医科大学講師が、  
平成22年12月1日付けで本学保健  
学研究科教授に発令されました。

## 人 事 異 動

### [採用]

| 発令年月日      | 現職(所属) | 氏名     | 異動内容                   |
|------------|--------|--------|------------------------|
| 平成22年12月1日 |        | 仙洞 雄一  | 助教(理工)                 |
| 平成22年12月1日 |        | 黒瀬 顕   | 教授(医) [平成32年11月30日まで]  |
| 平成22年12月1日 |        | 中川 公一  | 教授(保)                  |
| 平成22年12月1日 |        | 阿部 和弘  | 助教(病院) [平成23年3月31日まで]  |
| 平成22年12月1日 |        | 佐々木 全英 | 助手(病院) [平成27年11月30日まで] |

### [併任]

| 発令年月日      | 現職(所属)   | 氏名    | 異動内容                           |
|------------|----------|-------|--------------------------------|
| 平成22年12月1日 | 総務部長(総務) | 江羅 茂  | 学長特別補佐 [平成23年3月31日まで]          |
| 平成22年12月1日 | 教授(医)    | 中根 明夫 | 医学研究科附属動物実験施設長 [平成24年11月30日まで] |
| 平成22年12月1日 | 教授(医)    | 黒瀬 顕  | 附属病院病理部長                       |
| 平成22年12月1日 | 教授(医)    | 鬼島 宏  | 附属病院病理部長(解)                    |

[育児休業]

| 発令年月日       |             | 氏名     | 異動内容          |
|-------------|-------------|--------|---------------|
| 平成22年12月4日  | 看護師（病院・看護部） | 中嶋 公美子 | 平成24年3月31日まで  |
| 平成22年12月9日  | 看護師（病院・看護部） | 榑 妃呂子  | 平成24年3月31日まで  |
| 平成22年12月20日 | 教諭（教育・附小）   | 本堂 幸代  | 平成23年10月23日まで |

[任用更新]

| 発令年月日       | 現職（所属）    | 氏名     | 異動内容                      |
|-------------|-----------|--------|---------------------------|
| 平成22年12月20日 | 教諭（教育・附小） | 齋藤 美奈子 | 教諭（教育・附小） [平成23年10月23日まで] |

[辞職]

| 発令年月日       | 現職（所属） | 氏名    | 異動内容 |
|-------------|--------|-------|------|
| 平成22年12月31日 | 助教（医）  | 渡辺 光法 | 辞職   |
| 平成22年12月31日 | 助手（医）  | 田中 佳人 | 辞職   |
| 平成22年12月31日 | 助手（病院） | 木村 一之 | 辞職   |

---

## ■ 主要日誌

- 12月 2日 白神自然環境研究所教育研究棟竣工記念式典
- 4日 FDワークショップ
- 6日 役員会
- 10日 FDシンポジウム
- 13日 役員会
- 14日 企画戦略会議  
教育研究評議会
- 16日 事務連絡会議  
経営協議会  
研究・産学連携委員会
- 20日 役員会
- 21日 事務連絡会議  
経営協議会
- 24日 教育・学生委員会
- 27日 役員会
- 28日 仕事納め

---

## ■ 学内規則等の制定等

(平成22年12月6日改正)

部局長の定義及び権限の範囲を見直し、適正かつ円滑な承認・命令権等による事務を行うため、下記の規程の一部を改正した。

### ○国立大学法人弘前大学長の行う承認又は命令権等の委任に関する規程

(平成22年12月20日改正)

以下の理由により、下記の規程の一部を改正した。

- ①東北新幹線開業に伴い、鉄道賃について所要の改正を行うため。
- ②自家用自動車使用内規の制定に伴い、車賃について所要の改正を行うため。

### ○国立大学法人弘前大学旅費規程

(平成22年12月24日改正)

青森労働局雇用均等室からの依頼により、字句等の修正を行うため、下記の規程の一部を改正した。

- 国立大学法人弘前大学職員就業規則
- 国立大学法人弘前大学契約職員就業規則
- 国立大学法人弘前大学パートタイム職員就業規則
- 国立大学法人弘前大学職員の育児休業等に関する規程

(平成22年12月24日制定)

弘前大学における新エネルギー関連の大学院博士課程の設置構想について具体的に検討を行うため、下記の要項を制定した。

### ○弘前大学新エネルギー関連大学院博士課程設置検討委員会要項

教育学部を除く学部の教員養成に関する事項を検討するため、下記の要項を制定した。

### ○弘前大学全学教員養成担当実施委員会要項

(平成22年12月27日改正)

平成22年人事院勧告に基づき給与法が改正されたため、国に準じ、次の事項に関して下記の規程等の一部を改正した。

- ①俸給月額及び俸給の調整額を引き下げる。
- ②55歳を超える職員について、俸給及び俸給の特別調整額等の支給額を減額する。
- ③上記改正に伴い、字句を修正する。

- 国立大学法人弘前大学職員給与規程
- 国立大学法人弘前大学役員給与規程
- 国立大学法人弘前大学期末手当、勤勉手当及び期末特別手当支給細則
- 国立大学法人弘前大学学長特別補佐（非常勤）について
- 国立大学法人弘前大学特命教員給与細則
- 国立大学法人弘前大学職員の初任給、昇格及び昇給等の基準に関する細則



---

(平成22年12月27日改正)

以下の理由により、下記の規則等の一部を改正した。

①附属病院の運営をより機動的に強化するため、専任の副病院長を置くことができるようにする。併せて病院長の選考に関する規定について、字句の修正を行う。

②附属図書館長に関する事項について、国立大学法人弘前大学管理運営規則を整理することに伴い、弘前大学附属図書館長選考規程を廃止し、併せて附属図書館、医学部分館長及び附属図書館副館長に関する規定について字句の修正を行う。

- 国立大学法人弘前大学管理運営規則
- 国立大学法人弘前大学職員就業規則
- 国立大学法人弘前大学職員の区分、種類及び職名に関する細則
- 弘前大学医学部附属病院規程
- 弘前大学医学部附属病院長候補者先駆規程
- 国立大学法人弘前大学職員給与規程
- 国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程
- 弘前大学附属図書館規程

管理運営体制の強化を図るため、事務局に事務局長を置くことができるとし、下記の規程等の一部を改正した。

- 国立大学法人弘前大学事務組織規程
- 国立大学法人弘前大学事務連絡会議内規
- 国立大学法人弘前大学公印規程
- 国立大学法人弘前大学文書決裁規程

専門業務型裁量労働制について、字句の整理を行うため、下記の規則等の一部を改正した。

- 国立大学法人弘前大学職員就業規則
- 国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程

人事院規則15-14（職員の勤務時間、休日及び休暇）が改正されたことにより、国家公務員の病気休暇の上限期間（90日）が設定されたことに準じ、下記の規則等の一部を改正した。

- 国立大学法人弘前大学職員就業規則
- 国立大学法人弘前大学職員給与規程
- 国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程

医学部附属病院における研修医に超過勤務手当を包含した臨床研修手当を支給するため、下記の規則等の一部を改正した。

- 国立大学法人弘前大学契約職員就業規則
- 国立大学法人弘前大学契約職員等給与規程

医学部附属病院における医員に超過勤務手当を包含した初任給調整手当を支給するため、下記の規則等の一部を改正した。

- 国立大学法人弘前大学契約職員就業規則
- 国立大学法人弘前大学職員給与規程
- 国立大学法人弘前大学契約職員等給与規程

(平成22年12月27日制定)

○国立大学法人弘前大学初任給調整手当支給細則

(平成22年12月27日改正)

文部科学省通知に基づき、退職手当の通算に係る規定に関し、下記の規程等の一部を改正した。

○国立大学法人弘前大学職員退職手当規程

○国立大学法人弘前大学職員退職手当細則

(平成22年12月27日改正)

国家公務員の放射線取扱手当が月額制に改正されたことに伴い、国に準じ、下記の規程の一部を改正した。

○国立大学法人弘前大学職員給与規程

(平成22年12月27日廃止)

○弘前大学附属図書館長選考規程

---

## 訃報

本学名誉教授 畠山 洋二 氏には、12月 6日（月）御逝去されました。

享年 78歳

ここに、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

本学名誉教授 山本 隆男 氏には、12月27日（月）御逝去されました。

享年 86歳

ここに、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

弘前大学学報第81号

弘前大学総務部総務課  
036-8560 弘前市文京町1  
電話 (0172) 36-2111